

様式 2

県立高等学校重点校制度に係る成果報告書

学校名 鳥取中央育英高等学校

重点項目	地域連携重点校	提出日	令和5年4月20日
------	---------	-----	-----------

1 学校目標	
<p>克己を通じた人格の完成</p> <p>(1) 志を持ち、それを叶える確かな学力が身につく</p> <p>(2) 自らを律し、何事も率先して自ら行う力が身につく</p> <p>(3) 自他を思いやり、他と協力する力が身につく</p> <p>(4) 地域を支える社会人として必要な資質が身につく</p>	
2 重点項目に係る目標・成果	
目標	成果
<p>本校では地域を支える人材を育成することを重要課題と考え、高校生が地域の魅力や課題を探究する「地域探究の時間」に取り組んできた。平成26年8月には地元北栄町と『地域探究』の時間推進に関する協約を結び、その後「コナンの町づくりに関する意見交換会」「北栄町高校生議会」などに参加してきた。また、令和2年2月には琴浦町とも同様の協約を結び地域の活動の幅を広げている。生徒が地域の魅力や課題を探究し、地域に貢献する志を立てることを目指す。さらに、将来県外の大学等に進学した者の多くが帰郷し、地域リーダーとなることを目指す。</p>	<p>○1年生：テキスト「地域探究ノート」を使用し、スキル学習を中心に10時間の活動を行った。「探究入門」の事後アンケートで「探究活動の基礎的な知識・技能が身についた」・・・94%</p> <p>○2年生：地域の方々にお世話になり、フィールドワークやインタビューを通じて地域課題の解決を考察し、発表にまとめた。そのうち1チームが「中部高校生フォーラム」に参加した。また、校内発表会で選考された代表チームは岡山県真庭高校探究成果発表会に参加した。</p> <p>○3年生：卒業時アンケートの結果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「地域探究」の学びが【進路実現につながった】・・・53% ・【地元の魅力をたくさん知った】・・・91% ・【地元で働きたい】・・・64% ・【地元で暮らしたい】・・・74%
3 実施事業	
【高等学校課事業】	
<p>1 キャリア教育充実事業キャリア塾「夢ゼミ」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鳥取大学工学部社会システム土木系学科 准教授 長曾我部まどか 6月9日(木)「伝える・伝わる・分かり合う」生徒11名参加 ・鍼灸マッサージMOMINOKI 代表 生田貴裕 10月27日(木)「スポーツ編」生徒17名参加 <p>2 キャリア教育充実事業キャリア塾「キャリア探究」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地元企業8社(株式会社エースパック鳥取倉吉工場、流通株式会社、株式会社エナテクス、株式会社井木組、株式会社ラークコーポレーション(三朝館)、株式会社チュウブ、大山乳業農業協同組合、社会医療法人仁厚会) 2月15日(水)1年生76名(クラスごとに2班に分け、2つの事業所の説明を聞いた。) 	

【独自事業】

1 「地域探究の時間」(地域の魅力や課題を研究)

(1) 講師の招聘

- ①2年生「地域探究の時間」13グループそれぞれに1名ずつ講師を配置。
- ②中部地区全域からの「地域の人財」や有識者等による1年次生への地域探究入門に係る指導助言。
 - ・2月8日(水)1年生「探究入門」講師 鳥取大学 准教授 長曾我部まどか
- ③教職員へ地域探究の進め方研修
 - ・鳥取大学長曾我部まどか准教授に、適宜、指導・助言をいただいた。
 - ・「地域探究の時間」校内発表会では、日程が合わず、鳥取大学長曾我部准教授に指導助言をいただくことはできなかったが、北栄町役場の方や学校運営協議会の委員の方に参観いただいた。

(2) 「地域探究ノート」用ファイルの活用

- ・1年生「地域探究入門」で活用

(3) 「地域の人財」に学ぶ

- ・2年生「地域探究の時間」においてフィールドワークを3回実施。5月25日(水)、7月13日(水)、10月12日(水)。13グループそれぞれに1名ずつ講師を配置し、指導・助言を受けた。

(4) タブレット端末の活用

フィールドワークや関連資料検索など探究活動に各チーム1台を貸与し活用

(5) 他校研究成果発表会等への参加

- ・中部ハイスクールフォーラム 12月18日(日) 代表1班参加
- ・北栄町高校生議会 1月17日(火) 探究テーマごとに12班が提言
- ・岡山県立真庭高等学校探究発表会 2月4日(土) 代表1班参加
- ・東京県人会で「琴浦町PR動画作成」班が発表 2月12日(日) (琴浦熱中小学校主催)

(6) 島根県立隠岐島前高校主催「まちづくり甲子園」への参加

- ・実施なし

(7) 先進校視察

- ・岡山県立林野高等学校 11月25日(金) 教職員4名参加

2 キャリア探究推進事業

(1) 職場見学及び説明の実施

- ・10月12日(水)2年生「地域探究の時間」フィールドワークに1年生も参加

(2) 「在り方生き方」講演会

- ・12月1日(木) 講師 安井博志(スポーツライミング日本代表ヘッドコーチ)

4 総合所見(成果・評価)

- ・「地域探究の時間」をふるさとキャリア教育の大きな柱ととらえ、「地域を知ること」、「地域の大人とコミュニケーションをとること」、「地域に関心をもつこと」をすすめてきた。その結果、「地域探究」の学びを進路実現につなげるとともに「地元で働きたい」、「地元で暮らしたい」と思う生徒が増えてきた。
- ・1年生に「地域探究入門」や「キャリア探究」を実施することによって、キャリア形成を図る取組とすることができている。
- ・来年度は、生徒たちの主体性をより引き出すために、生徒の興味関心・問題意識を中心とした課題設定をするために、時間設定やグループ分けの方法・教員配置の仕方などの環境を整備するとともに、教職員用の活動マニュアルを作成し、共通認識の下で活動を進めていく必要がある。

※枚数任意